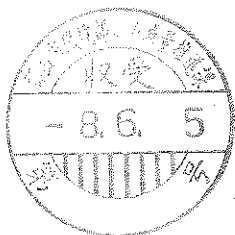


(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 8年 6月 5日

郡山市長殿



提出者

住 所 郡山市湖南町福良字家老9390番地6

氏 名 株式会社 二 嘉 組

代表取締役 二瓶 一嘉

電話番号 024-983-2152

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称

株式会社 二 嘉 組

事業場の所在地

郡山市湖南町福良字家老9390番地6

計画期間

令和 8年 4月 1日から令和 9年 3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類

0621 土木工事業

② 事業の規模

完成工事高 293,082 千円

③ 従業員数

18名(令和8年6月5日)

④産業廃棄物の一連の処理の工程

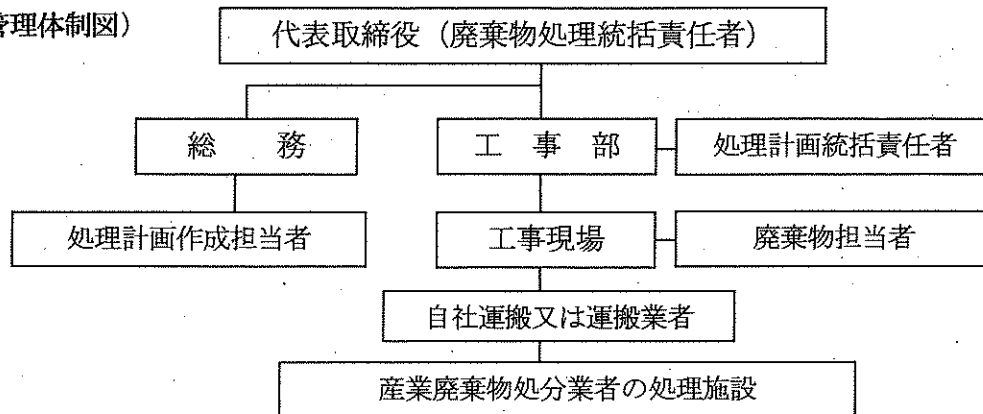
工事現場で
産業廃棄物
発生自社又は産業
廃棄物運搬業
許可業者にて
廃棄物運搬産業廃棄物処分許
可業者に廃棄物の
処分を委託

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年（令和7年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	ガラス・陶磁器くず
	排出量	737.85 t	303.02 t	1.13 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	汚泥	木くず
	排出量	1.13 t	3.32 t	57.57 t
	産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	混合（安定型のみ）	繊維くず
	排出量	6.38 t	0.08 t	0.96 t
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物		
	排出量	0.85 t	合計	1112.29 t
	（これまでに実施した取組） 再生処理業者に処理を委託し、再生材として再資源化してきた。			
②計画	【目 標】			
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	ガラス・陶磁器くず
	排出量	600.00 t	300.00 t	1.00 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	汚泥	木くず
	排出量	1.00 t	3.00 t	50.00 t
	産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	混合（安定型のみ）	繊維くず
	排出量	6.00 t	0.05 t	0.90 t
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物		
	排出量	0.80 t	合計	962.75 t
	（今後実施する予定の取組） これまで実施した取組みを継続する。			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 建設系混合廃棄物については、適正に分別することにより削減を図る。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 産業廃棄物の種類に応じて、今まで以上に分類の徹底を図る。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 自ら再生利用は行わない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 実施予定は無い。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 自ら中間処理は行わない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 実施予定は無い。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 自ら埋立処分又は海洋投入処分は行わない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 実施予定は無い。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和7年度）実績】 （別紙1-1）			
	産業廃棄物の種類			
	全 処 理 委 託 量			
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量			
	再生利用業者への 処 理 委 託 量			
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量			
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量			
	（これまでに実施した取組） 委託基準に従って業者に委託し、処理後に産業廃棄物管理票 により、廃棄物の処理状況の確認を行う。			

(第5面)

② 計画	【目標】 (別紙1-2)			
	産業廃棄物の種類			
	全処理委託量			
	優良認定処理業者への 処理委託量			
	再生利用業者への 処理委託量			
	認定熱回収業者への 処理委託量			
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量			
	(今後実施する予定の取組) これまで実施した取組みを継続する。			
※事務処理欄				

別紙1-1

令和7年度 産業廃棄物の処理の委託に関する事項(現状)

産業廃棄物の種類	全処理委託量(t)	再生利用業者への 処理委託量(t)
コンクリートがら	737.85	737.85
アスコンがら	303.02	303.02
ガラス・陶磁器くず	1.13	1.13
廃プラスチック類	1.13	1.13
汚泥	3.32	3.32
木くず	57.57	57.57
廃石膏ボード	6.38	6.38
混合(安定型のみ)	0.08	0.08
繊維くず	0.96	0.96
石綿含有産業廃棄物	0.85	0.85
合 計	1112.29	1112.29

別紙1-2

令和8年度 産業廃棄物の処理の委託に関する事項(計画)

産業廃棄物の種類	全処理委託量(t)	再生利用業者への 処理委託量(t)
コンクリートがら	600.00	600.00
アスコンがら	300.00	300.00
ガラス・陶磁器くず	1.00	1.00
廃プラスチック類	1.00	1.00
汚泥	3.00	3.00
木くず	50.00	50.00
廃石膏ボード	6.00	6.00
混合(安定型のみ)	0.05	0.05
繊維くず	0.90	0.90
石綿含有産業廃棄物	0.80	0.80
合 計	962.75	962.75

